

## 【研究概要】

遺伝性血管性浮腫の発症機序を明らかにする。さらに、治療法を開発する。遺伝性血管性浮腫は主として SERPING1 遺伝子の変異により発症する希少疾患である。発症の分子学的機序の解明のためには発症を実験室内で再現することが有用である。患者由来細胞より多分化能を有する iPS 細胞を作製し、各器官、臓器に分化させることにより発症メカニズムの解析が可能となる。また、薬剤などの治療効果を判定することも可能となる。健常者より提供される細胞で同様の過程を経て比較することにより、結果の解釈が可能となる。